

第1回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

平成 23年 6月 28日 (火)

時間 午後 2時から

場所 弥富市市民ホール

○議 事

<p>仮議長 伊藤 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今から、平成23年度 第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。</li> <li>○資料の確認             <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1：弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿</li> <li>資料2：平成22年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書</li> <li>資料3：平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）</li> <li>資料4：利用者実態調査（案）について</li> <li>資料5：モニタリング調査（案）について</li> <li>資料5-1：住民アンケート（案）</li> <li>資料5-2：企業アンケート（案）</li> <li>資料6：利用促進策について</li> <li>資料7：地域公共交通確保維持改善事業について</li> </ul> </li> <li>・規約第6条第5項に規定する座長が決定するまで、私、伊藤が仮議長として会議の進行を行う。よろしく。</li> </ul>
<p>服部市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変暑い中、本協議会への出席を感謝する。</li> <li>・本日は平成23年度になって第1回の弥富市地域公共交通活性化協議会である。新たに喜田委員、丸山委員にも公募委員として参加いただいた。今後ともよろしく願いしたい。忌憚のない意見をいただきたいと思う。</li> <li>・コミュニティバスの運行も昨年の6月21日に始まり、1年が経過した。この間、委員の皆様からいろいろなご意見をいただき改善を進めてきた。またこの4月からは、運行ルートや時刻表、停留所等を変更し、現在効果を確認しているところである。</li> <li>・本日は、この1年間の事業報告、決算報告と23年度の事業計画等、6つの議題を協議していただく。よろしく願いしたい。</li> <li>・より良い公共交通のバスにしていきたいと思っているので、平成23年度の協議会に於いても皆様からご意見をいただきたい。</li> </ul>
<p>仮議長 伊藤 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは議題に入る前に本日は第1回の会議なので、委員の紹介をさせていただきます。</li> <li>○委員の紹介</li> </ul>
<p>服部市長</p>	<p>○副会長、座長、監事の指名</p>
<p>仮議長 伊藤 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで議長を座長の山崎委員に交代させていただきます。</li> </ul>

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、豊田都市交通研究所に所属しており、交通を専門にしている。</li> <li>・弥富市コミュニティバスは、本格運行が始まってようやく1年であるが、さらにより良いバスにしたいと考えているので、皆さんよろしく。</li> <li>・次第に従って、議事を進行する。まず、平成22年度の決算報告について事務局より説明していただく。</li> </ul>																		
事務局（伊藤）	<p>○資料2 説明</p> <p>1. 平成22年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算報告</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>歳入</td> <td>弥富市負担金</td> <td style="text-align: right;">1億2,701万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国庫支出金</td> <td style="text-align: right;">2,600万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">1億5,301万円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>総務管理費、諸費</td> <td style="text-align: right;">2,726万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業推進費、広報公聴費</td> <td style="text-align: right;">1億2,575万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">1億5,301万円</td> </tr> </table> <p>2. 弥富市コミュニティバス 平成22年度 運賃収入 平成22年6月～平成23年3月まで 4,125,099円</p>	歳入	弥富市負担金	1億2,701万円		国庫支出金	2,600万円		合計	1億5,301万円	歳出	総務管理費、諸費	2,726万円		事業推進費、広報公聴費	1億2,575万円		合計	1億5,301万円
歳入	弥富市負担金	1億2,701万円																	
	国庫支出金	2,600万円																	
	合計	1億5,301万円																	
歳出	総務管理費、諸費	2,726万円																	
	事業推進費、広報公聴費	1億2,575万円																	
	合計	1億5,301万円																	
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、監事の鈴木委員より監査報告をしていただきたい。</li> </ul>																		
鈴木委員 （監事）	○ 監査報告																		
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の決算報告に対して、意見、質問があれば出していただきたい。</li> <li>・意見がないようなので、今、説明いただいた決算報告を承認していただける方は挙手をお願いしたい。</li> </ul>																		
委員一同	全員挙手																		
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の決算報告は承認された。</li> <li>・それでは、次の議題に入る。平成23年度事業計画案は、前回の会議で承認を得ているが、委員さんも変更になったこともあり、改めて事務局より具体的に説明していただく。</li> </ul>																		
事務局（横江）	<p>○資料3「平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画案」説明</p> <p>1. 弥富市コミュニティバス実証運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新ルート・ダイヤによる 実証運行を平成23年4月1日より開始する。</li> </ul> <p>2. 実証運行の検証、改善方策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者実態調査</li> <li>・モニタリング調査・分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>住民アンケート 配布数 2,000通</li> <li>企業アンケート 127社</li> </ul> </li> <li>・周辺自治体の公共交通の現状把握</li> <li>・問題点、課題の整理</li> <li>・改善方策の検討</li> </ul> <p>3. 公共交通の利用促進策検討</p> <p>議題（5）で詳細を説明</p> <p>4. 協議会の開催</p>																		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回開催予定</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の事業計画案に対して意見、質問があれば出していただきたい。</li> </ul>
代理 伊藤氏 (バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2 ページの実証運行・検証の中に「乗車人員調査」「降車人員調査」があるが、乗車人員調査は4月から3月になっているが、「降車人員調査」は7月から10月となっている。整合性はどうか。</li> <li>・また11月に「利用者実態調査」があるが、これについてはどうか。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局、いかがだろうか。</li> </ul>
事務局 (横江)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「乗車人員調査」は毎日報告されている。「降車人員調査」は7月から10月の4ヶ月間で、1週間ずつ日にちを設定し調査を行う予定である。</li> <li>・利用者実態調査の分析については、概ね11月までの結果を元に行うという意味である。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「乗車人員調査」とあるのは、常に事業者さんがデータを取り続けているものである。それに対して特別な調査として、「降車人員調査」を7月から10月まで行うものである。</li> <li>・またこれは公共交通活性化事業であるので、評価を行う必要がある。その評価、分析のために、概ね11月までのデータを利用するということである。</li> <li>・ほかに、意見等いかがだろうか。</li> </ul>
伊藤委員 (議会議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の国庫支出金はどの程度か。当初の予定では6千万のはずが、2,600万であった。これは事業計画のあり方にも影響してくる。コミュニティバスは、地域の足としての役割がある。極端な言い方をすると、国の施策の失敗でもある。自治体としては、信頼がこのバスには寄せられている。先の見通しはどうなっているのか。</li> </ul>
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度自体が去年と変更になった。確かに、補助金は当初とはかけ離れたものとなった。詳しくは、議題(6)の地域公共交通確保維持改善事業のところで説明させていただく。</li> </ul>
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の議長の発言は、我々の公共交通事業の根幹に関わる問題である。昨年度、補助金が1/2という状況の中でこの事業をスタートした。日本全国でこの地域公共交通事業への参加申し込みが非常に多かったという状況であり、一定の額の補助金を分配することができなかったことがある。先ほどの決算報告にもあったように、補助金は当初予定していた6千万の半分以下になってしまった。</li> <li>・平成23年度は1年間の猶予期間という形で、新しい制度のもとで、さらに国の予算は減っている状況である。23年度の弥富市への国の補助額が、今後決まってくるが、4回の協議会の中でこの公共交通バスをどのように運行するか、あわせて協議いただきたい。</li> <li>・以前、福祉バスであった「きんちゃんばす」は、無料で週5日の運行であった。その時にも、市の持ち出しは7千万ほどであった。</li> <li>・24年度には本格運行になるが、どのようなものとするのか皆さんに協議していただきたい。24年度も23年度のような予算が組めるのか、そういう根幹に関わってくることにもなると思う。市民の足として、あるいは福祉の観点からも、このバスを維持していかなければならない。いろんな観</li> </ul>

	<p>点があるが、いずれにしても協議会の中でしっかり協議していただきたい。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長から、お考えをお話していただいたが、どこの自治体も財政が厳しい中で、生活の足を確保するために苦慮している。効率的なバス運行ということ念頭に置いて、検討していただきたい。</li> <li>・ほかに、意見、質問はないだろうか。</li> <li>・次に議題（3）、（4）、（5）について事務局より説明していただく。</li> </ul>
事務局（横江）	<p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者実態調査について <ul style="list-style-type: none"> <li>乗車人員調査…実証運行期間中、毎日調査する</li> <li>降車人員調査…7月～10月の間、1週間ずつ、計4週間調査する。</li> </ul> </li> <li>・参考として実証運行開始から5月までの乗車人員の推移を整理した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>新ダイヤとなった4月以降の乗車人員は、利用者の少なかった12月、1月に比べると増加している。</li> <li>4月以降の平日1日あたりの平均乗車人員は、北部・東部ルートで増加、南部ルートで減少している。</li> <li>4月以降の休日の1日あたりの平均乗車人員は、南部・東部ルートで増加し、北部ルートで減少している。</li> </ul> </li> </ul> <p>○資料5説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング調査について <ul style="list-style-type: none"> <li>住民アンケート…7月から8月に実施、市内居住者2,000名と区長会、女性の会、福寿会の会員にも実施。</li> <li>企業アンケート…7月から8月に実施、市内臨海部に立地する企業127社</li> </ul> </li> </ul> <p>○資料5-1 「住民アンケート案」説明</p> <p>○資料5-2 「企業アンケート案」説明</p> <p>○資料6説明</p> <p>利用促進策について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実施済み施策 <ol style="list-style-type: none"> <li>①新時刻表…H23年3月に全戸配布</li> <li>②定期券、シルバーパスの発行…H23年4月1日から販売開始</li> <li>③バス協賛金（広告）事業…H23年4月1日から募集開始</li> </ol> </li> <li>2. 実施予定施策 <ol style="list-style-type: none"> <li>①お試し乗車券…広報を通して全戸配布（夏～秋頃 実施予定）</li> <li>②サイクルアンドバスライド…バス利用者用駐輪スペースの確保</li> <li>③車内ギャラリー展を開催…秋祭の際に実施予定</li> </ol> </li> </ol>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見、質問はないだろうか。</li> </ul>
丸山委員 （公募委員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4の乗車人員の推移の分析はしているのか。</li> <li>・休日の乗車人員数は、変動が激しい。また4月のダイヤ改正後の乗車人員が伸びていないのはなぜなのか。そのへんの分析はどうか。</li> </ul>
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4の乗車人員はトータルの数字である。実際にどの便に何人乗車して</li> </ul>

	<p>いるのか、データはある。乗車人数の変動の分析は難しく、同じ便でも日によってバラつきがある。また夜間便は乗車実績がなかったので、遅い時間の便は減便している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤ改正後の乗車実績が上がっていないが、新ダイヤに慣れるまでの期間がある程度必要だと考える。福祉バスの例でも、ダイヤ変更後、利用者は徐々に増えていった状況がある。もう少し長い目で見ていただきたい。</li> <li>・運行開始は昨年の6月21日なので、やっと1年たったばかりである。まだ実証運行期間であるので、運行方法については会議の中で協議していただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常、乗車人員の増減については、前年の同じ月で比較する必要がある。人の交通の動きには、季節変動がある。特に休日は、変動が大きい。今年度データを取っていただいて、昨年度と比較して分析、評価していただきたい。</li> <li>・ほかに意見、質問はよろしいだろうか。</li> </ul>
代理 崎下氏 (県交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4の乗車人員の推移だが、最後の議題でまた話が出るだろうが、来年度の新しい国の制度で補助金を申請するにあたって、前年度の実績で申請書は作成される。そのためには利用実態のデータが必要であるが、この資料のデータ内容だけではデータ不足の気がする。OD調査、全てのバス停間の利用人員、さらには定期券利用等の利用種別も含めたデータを取らないと、新しい制度では、補助金の交付申請は難しいのではないかと。そういった補助金の申請手続きを見据えたデータについては、どう考えているのか。</li> </ul>
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、OD調査の話が出たが、昨年も調査の実施を検討したが、非常に難しい面があるということで、昨年は断念した。</li> <li>・新しい制度でそこまでのデータが必要かどうか、私も不勉強で明確ではないが、今の段階では、そこまでのデータの必要性の認識を持っていなかった。調査させていただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できればOD調査は必要である。路線全体の動きを見る必要がある。OD調査は、そんなに大変ではないと思う。</li> </ul>
代理 伊藤氏 (バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査について。5ページに問10の後に、「問11へ」と書いてあるが、いろいろな方がいらっしゃるのでもっとわかりやすく、「問11以降へ」とか、「問13以降へ」とかした方がいい。設問が、問11で終わりであると誤解される恐れがある。</li> </ul>
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の段階はたたき台であるので、ご指摘の点は修正したい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかに意見、質問はないだろうか。</li> </ul>
喜田委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の校外学習に、バスは活用できないか。</li> </ul>
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会見学等に活用されていると聞いた。今後、教育委員会と話をし、そういったことも検討したい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おっしゃるとおり、子どものうちからバスに慣れることは大事である。現在、事務局で提案されている利用促進の中でも、子供を対象にしたものを</li> </ul>

	<p>考えられているようである。バスの乗り方教室などをやっている自治体もある。子供を対象にした利用促進は是非進めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかに、意見等はいかがだろうか。</li> <li>・最後の議題、(6) 地域公共交通確保維持改善事業について、事務局から説明していただきたい。</li> </ul>
事務局（横江）	<p>○資料7説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域公共交通活性化・再生総合事業」が平成23年4月1日に廃止され、「地域公共交通確保維持改善事業」が新設された。</li> <li>経過措置として今年度1年間に限り、実証運行に補助が受けられる。</li> <li>・「地域公共交通確保維持改善事業」…23年度は305億円の予算</li> <li>・「地域内フィーダー系統確保維持計画」を協議会で策定する必要がある。</li> <li>・「地域内フィーダー系統」の要件…幹線アクセス性、サービス充実性、公共性、地域の合意、効率的・効果的なサービスの確保</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸局から補足することがあったらお願いしたい。</li> </ul>
代理 小出氏 （中部運輸局）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局説明に少し補足する。</li> <li>・「地域公共交通活性化・再生総合事業」は政権が民主党に変わり、事業仕分けの対象となったが、判定の結果、事業は廃止となった。</li> <li>・それまでの8つの補助事業を統合して、新しく地域公共交通確保維持改善事業を創設した。昨年度の旧事業の合計予算は200億強だったものが、23年度は305億円の予算なので、数字の上では少し増えている。</li> <li>・地域間幹線系統確保維持計画は、県の協議会が行っている。弥富市のコミュニティバスは、支線にあたる地域内フィーダー系統確保維持計画に該当する。現在、県と役割分担して、計画が進められている。</li> <li>・弥富市の場合は、今年度は経過措置として補助が受けられるので、来年の6月に向けて計画づくりをし、国に提出していただきたい。</li> <li>・弥富市の場合、フィーダー系統の要件に合致するのが難しいパターンなので、支援対象となるよう内容の調整をさせていただきたい。</li> <li>・一般的な補助制度、予算というのは4月から始まり翌年の3月までと、年度で予算が組まれるが、この新しい支援制度は10月に開始して翌年の9月に終了するという点を注意していただきたい。</li> <li>・予算について、22年度は全国から非常にたくさんの要望があり、要望に対して4割程度の支援しかできない状況であった。23年度は、まだ交付金の額は確定していないが、要望額に対して概ね7割から8割の支援ができる予算が確保されていると聞いている。今後、額が確定したら事務局に通知する。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、ご説明をいただいたが、ご質問、ご意見はあるだろうか。</li> </ul>
丸山委員 （公募委員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民としての意見だが、事業は予算が限られている。市としては、1世帯あたりどのくらいの負担を考えているのか。</li> </ul>
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現段階では、1世帯あたりの金額は調べていないが、先ほども市長の話にあったが、福祉バスの時は、7000万程度の費用がかかっていた。その程度で金額で収まるような利用促進を図っていきたい。</li> </ul>

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な数字は明らかでないということだが、考え方として福祉バス程度の負担と…。</li> </ul>
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご質問の主旨が理解できない部分があるが…。これまで7千万円費用がかかっていて、市の世帯1万6千戸で割れば、大体の1戸あたりの負担額が出ると思う。</li> <li>・行政としては、そういう金額的なものより、市民の利便性を考えている。金額的なことを考えていくと、この地域公共交通は非常に難しくなってしまうと考える。</li> </ul>
丸山委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、お金を出したくないと言っているのではない。反対に、ある程度、お金を出さないと定着しないと思う。</li> <li>・これから高齢社会になるので、「今、これをやっておかないと、我々が将来困るよ」と、全国に先駆けて成功したコミュニティバスのモデルになればよい。</li> <li>・高齢者の運転は、大変怖いと思う。高齢者が無理して車に乗らなくてもいいようなバスにしていきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話の通り、バスの運行にはお金がかかるということを住民に訴える上で、1戸あたりの負担が4、5千円かかっているということをPRしていくのは大事である。</li> <li>・高齢者の運転に替わるものとしてバスの可能性も、弥富だけでなく日本全国で課題になっていることである。</li> </ul>
伊藤委員 (議会議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問だが、資料7の3ページ、フィーダー系統のイメージの中に、「平成13年3月31日時点での複数市町村間にまたがり、平日の計画運行回数が3回以上」とあり、過疎地域の補助がポイントになると思われる。弥富市の場合、これまで蟹江町、飛島村、木曾岬町と、近隣との関係がバスのダイヤにも反映されていたと思うが、そのへんはどうなっているのか。</li> </ul>
代理 小出氏 (中部運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助制度の説明をする。3ページ下の図の(1)を見てほしい。補助対象地域間幹線バスは、2ページで説明した愛知県が作成する地域間幹線系統のことである。この地域間幹線を一つのフィーダーとして認め、これに接続しない、例えば鉄道駅に接続する路線や、下に赤字で書いてある「平成13年3月31日時点での複数市町村間にまたがり、平日の計画運行回数が3回以上」のバス路線に接続するような支線の系統をフィーダー系統として位置付けされる。ただ、それについては、(2)の交通不便地域における地域間ネットワークのフィーダー系統の下に①と②があるが、フィーダー系統の運行する対象区域が一般に過疎地と言われるような法律に基づく地域まで足として延びている路線であるという位置付けが必要である。弥富市の場合、これにあてはまらないので、さっき申し上げたようにハードルが一番高い②になる。半径1km以内にバス停や鉄道駅がなく、全く公共交通がなく、そのバス路線がその地域の唯一の足で、それにより鉄道駅まで出るとか、一定の運行回数をしているバス路線まで出するための支線であるということで、地方運輸局長が内容を精査し指定するのが②である。</li> <li>・これは今年度始まった新しい補助制度で、愛知県下でも2市町村から要望</li> </ul>

	<p>が出されている。現状の手続きとしては、本省まで地域の状況の地図や各種資料を送って、個別に判断を受けて認められたものを、地方運輸局長が指定するという状況である。このフィーダー系統は、財務省に無理に認めてもらったという背景がある。弥富市の場合、来年度に補助を受けるには、この要件に合致する必要があるので、今後細かな調整を事務局さんとさせていただきたいと考えている。</p>
伊藤委員 (議会議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に言うと、13年の3月31日から休止路線になっている場合は…。</li> </ul>
代理 小出氏 (中部運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弥富市の場合は、弥富駅に接続する形であるので…。</li> </ul>
伊藤委員 (議会議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで、三重交通さんが走っていたが、今は休止路線になっている。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間幹線バスは県の方でやっている。</li> </ul>
伊藤委員 (議会議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休止路線であっても、運輸局で認めてもらえるなら…。</li> </ul>
代理 小出氏 (中部運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に三重交通さんが走っていて、バス路線がなくなって空白になったと。その後、福祉バスを運行させ、今回有償でコミュニティバスとした経緯も含めて、交通不便地域の判断をさせていただくことになる。</li> </ul>
伊藤委員 (議会議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかった。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間もきているので、最後にその他として、事務局からお願いします。</li> </ul>
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にない。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻表等の説明は…。</li> </ul>
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容は見ていただければわかると思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議題は全て終了した。</li> <li>・連絡事項等は…。</li> </ul>
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回、第2回の協議会は10月頃に開催を予定している。1ヶ月前には、皆さんに連絡するので、よろしく。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは以上をもって、平成23年度 第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。今後とも、皆様方にはご協力いただきたい。</li> </ul>
	以上